

委託事業実施内容報告書

平成20年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日系人等を活用した日本語教室の設置運営】

受託団体名 日本ラチーノ学院 日伯交流教室



1 事業の趣旨・目的

滋賀県や三重県に在住する日系人(ブラジル人を主とする)の子弟と父兄たちが定住生活者として必要な日本語や文化・習慣・常識を習得し、地域社会において日伯国際交流が自然な形で行われ国際親善をより良いものにし、今後の日本とブラジルがお互いに発展し、人的国際関係を深めていく上において本教室が開設されたことが少しでも役立つことを目的とします。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
平成 20 年 9 月 19 日	三宅 信史 畑 宏幸 中川 宜一 中川 美子	議長選任 日本語教室開設の可否 教室運営方法 予算	議長 中川宜一 選出 開設は可決 謝金・旅費等決定 広報活動方法
平成 20 年 11 月 5 日	中川 宜一 中川 美子 三宅 信史	講座(教室)見学 教室の実情 失業問題 今後の対策	教育事業部長 山本氏よりの報告 一般参加者の減少
平成20年 12 月 27 日	三宅 信史 畑 宏幸 中川 宜一 中川 美子	卒業式出席 卒業生(受講生)の就職 今後の運営	不況による影響 打開方法と対策 チラシ配布と勧誘 卒業式について
平成 21 年3 月 19 日	中川 宜一 畑 宏幸 中川 美子	受講生の減少 滋賀県知事来校の報告 NHK取材・放送 今後の対策・計画	卒業式出席 就職問題 総括と今後の計画

【写真】

運営委員会の写真は写していませんでしたので卒業式出席の写真を添付します。

3 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称

日伯交流教室

② 開催場所

滋賀県近江八幡市出町 123 番地1

NKビル 2 階 3 階

③ 学習目標

日常日本語会話の習得・ひらがな・カタカナ・漢字の書き取り
社会生活上に必要な一般常識

日本の歴史 日本の国語教科書(小・中学生)

長期目標は日本の大学検定合格を目標とする。

一般参加社会人は、正確な日本語と簡単な読み書き習得

④ 使用した教材・リソース

教授者が経験に基いて作成した教材・ノウハウ

東京外国語大学の教材

滋賀県公立小・中学校の国語・歴史の教科書

⑤ 受講者の募集方法

在校生の放課後参加

父兄 卒業生への参加呼びかけ

チラシの配布

⑥ 受講者の総数 142 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

⑦ 開催時間数(回数) 380 時間 (全190 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者・補助者人数	内容
①	10月1日 3:10~5:10	2時間	70人	ブラジル国・ポルトガル語（3人）	教授者3人 補助者1人	日本語発音学習 自主作成教材使用
②	10月3日	2時間	69人	ブラジル国 ポルトガル語（3人）	教授者3人 補助者1人	ひらがな カタカナ
③	10月4日	2時間	14人	同上（1人）	教授者1人	アイウエオ 挨拶
④	10月9日	2時間	71人	同上	教授者3人 補助者1人	日常会話 やさしい漢字
⑤						

・毎週 水曜・金曜(3教室) 土曜(1教室)

・木曜日は隔週(2~3教室)

・毎月同じローテーション

⑨ 特徴的な授業風景(2~3回分)

(教室風景の写真を数枚添付。)

村上アドリアナ先生の低学年(10歳まで)への日本語教育

塗り絵を使う方法で楽しく分り易く指導します。

生徒の名前も日本語で書いてあり自分の名前の字はすぐに覚えました。

中川 ユキ先生(高学年)

中川先生の教室はポルトガル語は禁止です。

生徒は自分で文章を考え漢字も交えた作文をかきます。

カメタニ タチアナ先生

地元の小学校との交流で筆書きによる書初めをしました。(第2作品のチラシの写真)

公園での学習やビデオを見ながら生徒が飽きないよう工夫します。

⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
中川ユキ	ポルトガル語(ブラジル)	12年	72回	教授者(責任者)
村上アトリアナ	同上	12年	59回	教授者
カメタニアトリアナ	同上	16年	59回	教授者
千葉ルイザヨウコ	同上	18年	25回	補助者

⑪ 支援者の名簿(⑦以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

教室は全課程を修了しましたが、突然の不況の影響により生徒(受講生)の減少が著しく当初の半分の68名が教室を巣立ちました。

② 学習者の習得状況

受講生の学習態度は、熱心で体調不良以外の欠席もなく先生方が想像していた以上の語学力の識字能力を習得できたとおもいます。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

日系人の人達も勉強することにより将来の自分たちの人生が如何様にも変り、そして目標を掴みとることが出来ることが実感できたし、この体験が決して無駄ではなかった単なる知識の詰め込みではなくて教室での教育を通じて得ることのできた大勢の人達との触れ合いや世の中の状況により友達と仕方なく別れを余儀なくされた悲しさも教室で覚えた知識とともに決して忘れないでしょう。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

教育委員会や県国際課との連携が深まり公的支援や各種学校認可への道筋がすこしだけ見えてきたことが効果であり成果といえます。

⑤ 改善点, 今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

全く予想しなかった不況の大波が教室に大きく影響しました。しかしそれは学習の内容に影響したのではなく開設当初は順調に船出したのに勉強をしたかったのに帰国しなければならず勉強をやめることになった人達70余名となり在籍していた生徒は半分の人数になりました。

b. 今後の課題

先生方には大変なご苦勞を掛けました。やめた生徒の家庭訪問や後処理など多忙な上に自分たちで教材や企画予定をつくり教壇にも立たねばならず少ない人数での執務は激務になるので来期の執行は増員で対応したいと思います

c. 今後の活動予定, 展望

今年も先生方の了解があれば今期の経験を生かして是非再開したいと考えています。

各方面の支援もお願いしているところであり再開は可能です。

③その他参考資料

滋賀県知事 嘉田由紀子氏来校の記事 2 枚

当校ホームページ 1 枚

寄付おねがいのチラシ 1 枚

※写真は, 肖像権等に配慮し, 差し支えないものを添付すること。